

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%					○
読むこと	65.9%	○				

【考 察】

- 「書くこと」の領域では、文章を引用して自分の考えが伝わるように話の続きを書く問題の正答率が全国平均を大きく上回りました。普段から自分の経験と結び付けて考えたり、条件に合わせて内容を整理したりしてから文章を書くように指導していることが成果に繋がったと考えられます。
- 「読むこと」の領域では、文章の中から必要な情報を見付ける問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、段落ごとの内容を整理しながら読み、問いに応じて必要な情報を選び取ることができるように指導をしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%					○
図 形	55.3%	○				
測 定	78.1%					○
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域の問題の正答率は、全国平均を上回りました。朝学習でのタブレットドリルの活用や計算コンクールの実施、家庭学習の積み重ねが成果に繋がったと考えられます。今後も基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、学習した内容を活用する力の育成に取り組んでいきます。
- 「変化と関係」の領域においては、割合や単位量あたりの大きさを求める式の意味を理解することに課題が見られました。基準量、比較量を明確にしながら数量の関係を図・表・式で関連付けて考える活動を充実させるとともに、自分の言葉で説明する学習を継続的に取り入れ、式の意味を正しく理解できるよう指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	関辺小	15.8	63.2	15.8	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と答えた児童を合わせると、約80%と多くの児童が前向きに学びに向き合っている様子が伺えます。授業においても、学び合う時間を意図的に設け、様々な考えに触れる時間を確保しています。しかし、どのように考えればよいか分からない児童もいるため、まずは自分なりの考えをもつことができるよう、一人追究の時間に個別に支援していきます。
- 「もっと知りたい」「分りたい」というような意欲に繋がっていくような授業づくりを心がけていきます。また、自主学習のよい取り組みを学級全体に知らせるなどして、意欲をもって自主学習にも取り組めるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	関辺小	0.0	10.5	52.6	31.6	5.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 6年生の家庭学習の目安の時間は70分以上（学年×10分+10分）としており約60%の児童が目標を達成しています。しかし、1時間未満の児童が約40%となっていることは課題です。家庭学習カードを使って家庭学習の計画を立てたり、学習時間をチェックしたりしてきましたが、習慣化が図られていないと考えられます。もう一度家庭学習の意義について確認し、計画の立て方についても指導していきます。
- ご家庭でも、ふくしまの「家庭学習スタンダード」を活用しながら、「自己マネジメント力」を育む関わりや、声かけをお願いいたします。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
	関辺小	1 5. 8	7 3. 7	1 0. 5	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 普段の授業の中で学習を振り返る時間を設定し、分かったことや分からなかったことを見つめ直すことができるようにしています。多くの児童が、自分の言葉でその授業で学んだことをまとめることができています。今後も振り返る時間を確保し、次の学習につなげることができるように指導していきます。
- 算数科では、授業の最後に練習問題に取り組むことで「本当に分かったのか」を確かめるようにしています。「分かった」という実感をもち、自信をもって次の学習に取り組めるようにしています。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	5 2. 7	3 8. 7	5. 5	1. 3
	関辺小	5 7. 9	4 2. 1	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 授業では、グループ学習する際に、友達同士協力し合って課題を解決しようと話し合う姿が多く見られます。そういった活動の積み重ねが、友達や周りの人の考えをよく聞いて、大切にしていると感じることにつながっていると思われます。
- 授業以外でも、学校では自分の考えを伝えるだけでなく、友達や周りの人の考えを最後まで聞き、違いを認め合いながらよりよい方法を考える力を育てることに努めています。今後も相手の気持ちを想像し、思いやりをもって関わることで、安心して過ごすことができる学級づくりに努めていきます。